

平成30年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の

点検及び評価報告書

南富良野町教育委員会

～ 目 次 ～

1	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について・・・	1
2	教育委員会会議等の開催状況・・・	2～3
3	教育長及び教育委員の主な活動状況・・・	4～7
4	児童生徒の活動状況（部活動等）・・・	8～12
5	教育行政執行方針の概要・・・	13～14
6	教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事業一覧・・・	15～16
7	事務・事業等の点検・評価の方法・・・	17
8	事務・事業点検・評価シート・・・	18～37
9	前年度点検・評価対象事務・事業の状況・・・	38～40
10	学識経験者・・・	41
11	教育委員会の組織・・・	42

1 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について

(1) 点検及び評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、各教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、同法第 26 条の規定に基づき、平成 30 年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

(2) 点検及び評価の対象

平成 30 年度の「教育行政執行方針」に基づき教育委員会が実施した主な事務・事業を対象として、自己点検及び自己評価を行います。

又、教育委員会や各種審議会の会議の開催状況や教育委員の活動状況、児童生徒の部活動等における活動状況なども報告しています。

(3) 点検及び評価の方法

(ア) 点検及び評価の観点

教育委員会会議の開催状況など、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、事務・事業等については、事業の実績や成果等から達成度及び効果度に着目して評価し、そのうえで総合評価を行い、課題等を踏まえ、今後の取組の方向性や方策等を明らかにしています。

(イ) 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った教育委員会の活動状況や事務・事業等の実施状況についての点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に向けた活用を図るため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

2 教育委員会会議等の開催状況

平成 30 年度における教育委員会会議及び教育委員会が所掌する各種審議会等の開催状況は、次のとおりです。

(1) 教育委員会会議開催状況

①教育委員会会議

区 分	期 日	付 議 事 件
第 4 回	平成 30 年 5 月 30 日	・平成 30 年度要保護準要保護児童生徒の認定について
第 5 回	平成 30 年 7 月 24 日	・平成 30 年度学校職員の人事について
第 6 回	平成 30 年 8 月 29 日	・平成 31 年度使用小学校用教科用図書の採択について ・平成 31 年度使用中学校用「特別の教科 道徳」教科用図書の採択について ・平成 29 年度教育行政評価報告書の提出について
第 7 回	平成 30 年 9 月 10 日	・平成 30 年度教育費の補正予算について ・南富良野町地域交流センター条例の廃止について
第 8 回	平成 30 年 10 月 12 日	・平成 30 年度要保護準要保護児童生徒の認定について
第 9 回	平成 30 年 11 月 30 日	・平成 30 年度教育費の補正予算（第 2 号）について
第 1 回	平成 31 年 1 月 24 日	・南富良野町いじめ防止条例方針の制定について
第 2 回	平成 31 年 2 月 21 日	・平成 31 年度要保護準要保護児童生徒（新入学・中学校修学旅行分）の認定について ・平成 30 年度教育費等の補正予算（第 3 号）について ・平成 31 年度教育費等の予算について ・平成 31 年度教育行政執行方針について
第 3 回	平成 31 年 3 月 27 日	・教職員人事異動について ・教育委員会の人事について

教育委員会会議は、月 1 回程度開催することとしておりますが、平成 30 年度は 9 回を開催し、教育に関する様々な案件について検討し、議論・議決を行いました。

会議については教育委員会の合議制の観点から全ての委員が出席した中で各種議題の審議を行うよう開催日時の調整に努めます。

今後においても、教育を取り巻く課題等に対応した施策の推進に向けて、十分な議論や審議を行っていく必要があると考えています。

2 教育委員会会議等の開催状況

(2) 各種委員会等開催状況

①南富良野町総合教育会議

区 分	期 日	協 議 事 項
開催なし。		

②いじめ対策協議会

区 分	期 日	協 議 事 項
第 1 回	平成 30 年 12 月 3 日	・ 南富良野町いじめ防止基本方針について ・ いじめ防止に係る取組みについて ・ いじめ問題の現状について ・ 関係機関等の取組みについて

③社会教育委員会

区 分	期 日	審 議 事 項
第 1 回	平成 31 年 3 月 13 日	・ 社会体育、社会教育事業実績について ・ 平成 31 年度社会教育・社会体育事業計画(案)について

④スポーツ推進委員会

区 分	期 日	審 議 事 項
第 1 回	平成 31 年 3 月 20 日	・ 委員の任期補充について ・ 平成 30 年度社会体育事業実施報告について ・ 平成 31 年度社会体育事業について

⑤文化財審議会

区 分	期 日	協 議 事 項
第 1 回	平成 30 年 12 月 7 日	・ 町内の歴史的建造物の選定及び指定について ・ 「木田幸次郎」氏の歴史的資料の発刊について

教育委員会に設置している主な審議機関等では様々な議題について審議をしてきており、総合教育会議以外の各種会議については、一部開催時期が遅れたものもありますが、必要に応じ開催され、各種議題の審議等を行いました。

今後は、各審議機関等において審議を深め、南富良野町の教育の推進を図っていきます。

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

平成 30 年度における教育長及び教育委員の主な活動状況は、次のとおりです。

(1) 教育委員の活動実績

区 分	行 事 名 等	場 所
平成 30 年 4 月 4 日	平成 30 年度教職員辞令交付式及び着任式	役場大会議室
平成 30 年 4 月 5 日	南富良野小学校入学式	南富良野小学校
	南富良野西小学校入学式	南富良野西小学校
	南富良野中学校入学式	南富良野中学校
	南富良野町婦人団体連絡協議会総会	情報プラザ
平成 30 年 4 月 9 日	南富良野高等学校入学式	南富良野高等学校
平成 30 年 4 月 10 日	上川管内教育委員会教育長会議	旭川市
平成 30 年 4 月 12 日	千里大学始業式	保健福祉センター
平成 30 年 4 月 16 日	根室本線災害復旧路線維持住民集会	保健福祉センター
平成 30 年 4 月 17 日	富良野沿線教育長会議	富良野市
平成 30 年 4 月 20 日	北海道公民館協会定期総会	札幌市
平成 30 年 4 月 23 日	公立高等学校配置計画地域別検討協議会	旭川市
	南富良野町 P T A 連合会総会	南富良野中学校
平成 30 年 4 月 26 日	町村立高等学校自治体連絡協議会総会	札幌市
平成 30 年 5 月 9 日	学校経営指導訪問	南富良野小学校 南富良野中学校
平成 30 年 5 月 13 日	山本二三展特別イベント	保健福祉センター
平成 30 年 5 月 14 日	南富良野町文化協会総会	情報プラザ
平成 30 年 5 月 15 日	湖水まつり実行委員会	情報プラザ
平成 30 年 5 月 16 日	学校経営指導訪問	南富良野西小学校

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

区 分	行 事 名 等	場 所
平成 30 年 5 月 17 日	上川管内学校における働き方改革推進会議	旭川市
平成 30 年 5 月 21 日	町政施行 50 周年実行委員会	役場大会議室
平成 30 年 5 月 23 日	南富良野高等学校公開授業	南富良野高等学校
平成 30 年 5 月 25 日	自治会代表者会議	保健福祉センター
	町特別支援教育連絡協議会総会	南富良野中学校
	町防犯協会総会	役場大会議室
平成 30 年 5 月 26 日	南富良野中学校体育祭	南富良野中学校
平成 30 年 5 月 30 日	教育委員学校訪問	町内各学校
平成 30 年 6 月 3 日	南富良野小学校運動会	南富良野小学校
平成 30 年 6 月 4 日	第 6 地区教科用図書採択協議会	旭川市
平成 30 年 6 月 5 日	南富良野高等学校国際交流事業報告会	南富良野高等学校
平成 30 年 6 月 8 日	北海道公立文教施設整備期成会定期総会	札幌市
	中体連陸上競技大会	旭川市
平成 30 年 6 月 10 日	南富良野西小学校運動会	南富良野西小学校
平成 30 年 6 月 22 日	富良野地区中体連球技大会	富良野市他
平成 30 年 6 月 25 日～ 平成 30 年 6 月 29 日	本部町親善交流事業	沖縄県本部町他
平成 30 年 7 月 7 日～ 平成 30 年 7 月 8 日	南富良野高等学校学校祭	南富良野高等学校
平成 30 年 7 月 12 日	第 55 回北海道市町村教育委員研修会	札幌市
平成 30 年 7 月 23 日	第 6 地区教科用図書採択協議会	旭川市
平成 30 年 8 月 1 日～ 平成 30 年 8 月 3 日	子ども朝活事業	町民体育館
平成 30 年 8 月 31 日	山口剛史オリンピック報告会	情報プラザ
平成 30 年 9 月 22 日	南富良野中学校吹奏楽部定期演奏会	南富良野中学校

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

区 分	行 事 名 等	場 所
平成 30 年 9 月 28 日	富良野広域連合教育委員会	富良野市
平成 30 年 9 月 29 日	南富良野中学校学校祭	南富良野中学校
平成 30 年 10 月 11 日	学校経営指導訪問	南富良野小・中学校
平成 30 年 10 月 13 日	中村天平ピアノコンサート	保健福祉センター
平成 30 年 10 月 14 日	町民フロアカーリング大会	町民体育館
平成 30 年 10 月 20 日	南富良野小学校学芸会	南富良野小学校
平成 30 年 10 月 21 日	富良野沿線文化団体交流会	保健福祉センター
平成 30 年 10 月 23 日	通学路安全推進会議	役場大会議室
平成 30 年 10 月 27 日	校長会との合同研修会	滝川市 他
平成 30 年 10 月 30 日	上川管内教育委員研修会	上川町
平成 30 年 11 月 3 日	南富良野町文化協会発表会	保健福祉センター
平成 30 年 11 月 6 日	J R 早期復旧路線維持帯広集会	帯広市
平成 30 年 11 月 10 日	南富良野西小学校学芸会	南富良野西小学校
平成 30 年 11 月 16 日	バイキング給食 巡回小劇場	町民体育館 南富良野小学校
平成 30 年 11 月 20 日	ふらの塾舞台公演	保健福祉センター
平成 30 年 11 月 29 日	教育支援委員会	役場大会議室
平成 30 年 12 月 1 日	ジュニアカーリング選手権大会	空知川スポーツリンクス
平成 30 年 12 月 4 日	いじめ対策協議会	役場大会議室
平成 30 年 12 月 7 日	文化財審議会	役場中会議室
平成 30 年 12 月 10 日	教育委員学校訪問	町内各学校
平成 30 年 12 月 17 日	スキー場安全祈願祭	南ふらのスキー場
平成 30 年 12 月 20 日	特別支援連絡協議会	南富良野中学校

3 教育長及び教育委員の主な活動状況

区 分	行 事 名 等	場 所
平成 30 年 12 月 25 日～ 平成 30 年 12 月 27 日	子ども朝活事業	南富良野小学校
平成 31 年 1 月 13 日	平成 31 年成人式	保健福祉センター
平成 30 年 1 月 29 日	町 P T A 連合会研修大会	情報プラザ
平成 31 年 1 月 28 日～ 平成 31 年 2 月 1 日	本部町親善交流（冬の体験の翼）事業	南富良野小学校他
平成 31 年 2 月 6 日	上川南部教育委員研修会	上富良野町
平成 31 年 3 月 1 日	南富良野高等学校卒業式	南富良野高等学校
平成 31 年 3 月 14 日	南富良野中学校卒業式	南富良野中学校
平成 31 年 3 月 16 日	南富良野西小学校卒業式	南富良野西小学校
平成 31 年 3 月 19 日	南富良野小学校卒業式	南富良野小学校
平成 31 年 3 月 27 日	平成 30 年度教職員退職辞令交付式及び 教職員離任式	役場大会議室

教育委員会には、地域全体の教育、学術、文化、スポーツの振興を図るという社会的な使命があり、総合的な視点に立って活動していく必要があります。

教育委員は、会議における審議以外に教育現場を訪問することや、各種行事や研修会等に参加することで、教育現場の状況の把握及び教育委員としての能力向上に努めています。

今後も教育現場の訪問や研修会等に積極的に参加し、教育に関する課題の把握に努め教育委員会に期待される役割、機能を十分果たしていくよう活動して参ります。

4 児童生徒の活動状況(部活動等)

平成 30 年度における児童生徒の部活動等における活動状況は、次のとおりです。

(1) 少年団活動

ク ラ ブ 名 等	所属人数	活 動 状 況
野球スポーツ少年団	16 人	○スポーツショップ MINO 杯少年野球大会 ○全日本学童野球大会富良野支部予選会 ○全道少年軟式野球富良野支部大会 ○太陽グループ杯争奪全道少年野球選抜富良野大会 ○富良野沿線少年野球リーグ戦 ○富士スポーツ杯富良野沿線少年野球大会 ○トップボール杯争奪少年野球大会 ○富良野沿線少年野球新人戦大会 ○富良野沿線少年野球新人戦
バレーボールスポーツ少年団	7 人	○ファミリーマートカップ第 36 回全日本バレーボール小学生大会富良野地区予選 ○富士スポーツ杯小学生バレーボール大会 ○三野スポーツ杯小学生バレーボール大会 ○道新カップバレーボール大会富良野地区予選会 ○富良野地区小学生バレーボール大会 ○富良野市スポーツ少年団本部小学生バレーボール大会 ○スポーツショップ三野杯小学生バレーボール大会
カーリングスポーツ少年団	17 人	○ゆっくみなみふらのカップカーリング大会 ○道新杯北海道ジュニアカーリング大会 ○第 27 回全日本ジュニアカーリング選手権大会 ○町長杯 ○おさだグループ杯 U-12 カーリング大会 2019 ○妹背牛ロータリークラブ杯ジュニアカーリング大会 ○第 27 回北海道ジュニアカーリング選手権大会 ○第 6 回フレンドシップジュニアカーリング大会

4 児童生徒の活動状況(部活動等)

スキースポーツ少年団	14人	○サロモンカップ ○糠平SL・GS ○ハウスカップ旭川予選 ○かもい岳幼児・小学生スキー大会 ○道新杯 ○かもい岳SG ○ふらのスキー祭りGS ○日高岳GS ○テイネSL ○占冠ジュニアスキー大会 ○かなやま湖ジュニアGS大会 ○連盟会長杯兼セルジュラング杯 ○朝里SL・GS ○三笠SL ○テイネGS ○カムイSG ○ハウスカップ決勝大会 ○全道ジュニアアルペンスキー大会 ○木村公宣杯 ○ジュニアオリンピック
------------	-----	---

(2) 南富良野中学校部活動

クラブ名等	所属人数	活動状況
野 球 部	9人	○富良野沿線中学軟式野球大会 ○全日本少年軟式野球支部大会 ○富良野連盟会長杯少年野球大会 ○地区中体連軟式野球大会 ○ロータリークラブ杯中学野球大会 ○全日本少年秋季軟式野球富良野支部予選 ○富良野沿線中学軟式野球新人戦
卓 球 部	10人	○富良野沿線春季卓球大会 ○道新杯争奪卓球大会 ○地区中体連卓球大会 ○ニッタク杯争奪卓球大会 ○北海道卓球選手権大会（カデットの部） ○紅葉杯争奪卓球大会 ○会長杯争奪卓球大会

4 児童生徒の活動状況(部活動等)

		○沿線中学新人戦兼 VICTAS 杯卓球大会 ○かわむら杯争奪卓球大会 ○道新杯全道中学選抜卓球大会 ○金井杯争奪卓球大会 ○友愛杯争奪卓球大会
ソフトテニス部	14人	○春季富良野沿線中学生ソフトテニス大会 ○富良野沿線中学生ソフトテニス大会 ○真壁杯中中学生ソフトテニス大会 ○北海道中学選手権ソフトテニス大会 ○地区中体連ソフトテニス大会 ○上川管内代表決定戦ソフトテニス大会 ○U-14 道北カップソフトテニス選考大会 ○富良野沿線中学生ソフトテニス新人戦 ○富良野沿線中学生インドアソフトテニス大会 ○中学校指導者協議会杯中中学生インドアソフトテニス大会 ○インドアソフトテニス大会上川代表決定戦 ○富良野地区中学生中学生インドアソフトテニス大会
バレー部	1人	○協会杯バレーボール大会 ○くまげら杯中学校親睦バレーボール大会 ○地区中体連バレーボール大会 ○富良野地区Vリーグ ○体育の日記念バレーボール大会 ○富良野地区中学校新人戦バレーボール大会 ○ALL KAMIKAWA 中学バレーボール大会 ○富良野地区選抜バレーボール大会 ○minosportcup 中学校バレーボール大会 ○富士スポーツ杯中中学生親睦バレーボール大会 ○美瑛 mino Sportcup 中学校バレーボール大会
吹奏楽部	18人	○旭川吹奏楽祭 ○北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選 ○北海道アンサンブルコンクール旭川地区予選 ○富良野地区吹奏楽祭
陸上部(季節部)	6人	○地区中学校陸上競技大会 ○北海道中学校陸上競技大会
剣道部(季節部)	2人	○地区中体連剣道大会 ○上川管内中体連剣道大会新人戦

4 児童生徒の活動状況(部活動等)

スキー部（季節部）	2人	○地区中体連スキーアルペン大会 ○北海道中学校スキー大会アルペン競技
-----------	----	---------------------------------------

(3) 南富良野高等学校部活動

ク ラ ブ 名 等	所属人数	活 動 状 況
バトミントン部	13人	○高体連予選 ○新人戦予選
卓球部	10人	○高体連予選 ○新人戦予選 ○国体道予選
カヌー部	11人	○高体連全国大会 ○国体全国大会 ○道カヌースプリント短距離選手権大会
スキー部（季節部）	2人	○高体連全国大会（クロスカントリー・アルペン）
カーリング部	10人	○道央ブロックジュニア大会 ○全道高校選手権大会 ○全国高校選手権大会 ○南富良野ジュニア大会
吹奏楽部	8人	○学校祭における発表 ○高文連上川支部音楽発表大会 ○北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選 ○オータムコンサート ○富良野地区吹奏楽祭
資格取得部	11人	○日本語ワープロ検定 ○全経簿記能力検定 ○情報処理技能検定 ○プレゼンテーション作成検定 ○硬筆書写技能検定 ○実用英語検定 ○漢字能力検定 ○語彙・読解力検定 ○数学技能検定

4 児童生徒の活動状況(部活動等)

(4) 部活動等の活動状況について

教育委員会としては、児童生徒の体力の向上及び運動能力の増進並びに文化活動の助長を図ることを目的として少年団活動に対する補助金の交付や中学校及び高等学校における部活動に対する財政的支援を行っております。

今後も、児童生徒が健康で明るく活気に満ちた生活を送ることのできる環境づくりに取り組んでいく必要があると考えており、引き続き体育・文化活動に対する支援を行って参ります。

5 教育行政執行方針の概要

平成 30 年度の南富良野町教育行政執行方針では、分野ごとの基本目標を示しています。

○新教育委員会制度のもと、総合教育会議などを通して町長との連携強化を図り、教育行政の担い手として、使命感をもって教育の充実に取り組んでまいります。

○学校教育

① 確かな学力を育む教育の推進

- ・基礎学力の定着を図るための取組
(ICT 機器の活用や土曜授業の継続、習熟度別学習など、きめ細かな指導)
- ・教師力の向上
(授業力向上に向けた講習会の開催)
(校内研修の充実と各種研修会への参加)
(指導力と実践力の向上に向けた研鑽)
- ・学校での工夫した読書活動を展開する。

② 豊かな心と健やかな体の育成

- ・体力づくりの充実、運動習慣づくり
- ・ネットモラルの指導徹底
- ・支援を要する児童生徒の支援充実
- ・いじめの未然防止、早期対応

③ 信頼される学校づくり

- ・コミュニティスクールの導入
- ・安全安心な学校づくり
- ・安全で安心な給食の提供
- ・学校給食費を助成継続

○高等学校

地域の特色を活かした学校づくりに努めて、小さな学校だからこそできる授業をめざし、地域とともに歩む高校をめざしてまいります。

① 各種補助・助成事業を継続

② 学力向上策、部活動における中高連携事業の充実

③ 生徒の進路に応じた多様な多様性を伸ばす支援を強化してまいります。

④ 魅力づくりの推進のため、振興策や学校のあり方等について検証

5 教育行政執行方針の概要

○生涯学習

町民が、生涯を通じて積極的に学び、その成果を生かすことができる環境をつくり、楽しさや喜びを実感しながら、いつでも、どこでも学ぶことができる生涯学習の推進

① 少年教育

- ・子どもたちが自由に参加できる体験活動の場を提供
- ・「沖縄県本部町」との親善交流事業の引き続き継続

② 青年教育

- ・職域を超えた青年同士のネットワーク構築と地域活動を担える人材の育成と学習活動の提供
- ・社会教育事業と連携した取組と活動支援
- ・継続的な語学教育を展開
- ・千里大学は豊かな生活体験や人生経験を活かす機会場の場を提供

③ 芸術文化活動

- ・町民による主体的な文化活動を支援
- ・北海道舞台塾の公演を開催
- ・「山本二三」氏を招き、作品展を開催

④ 公民館活動

- ・本にふれあう機会の充実と図書サービスの向上
- ・公民館活動を活発化させ、住民の教養向上及び健康増進

⑤ 文化財

- ・郷土資料を活用し歴史や文化遺産を知る機会を提供し、郷土学習として活用
- ・「イトウ」が生息しており、町民共有の財産として次世代に継承する取組

⑥ 家庭教育

- ・子ども朝活事業「南ブ塾」を開催
- ・適正な生活習慣の定着を図る、家庭教育を支援する取組

⑦ 体育・スポーツの振興

- ・町体育協会やスポーツ推進委員、総合型スポーツクラブ「ゆっく」などと協働
- ・町民が各種スポーツ競技の全道大会、全国大会に出場する際の経費の一部助成を継続
- ・スポーツ少年団活動は、スポーツを通して子どもたちの心身の健全な育成が図られており、大会参加等のための保護者負担に対する支援
- ・スポーツ施設は指定管理者と連携し、施設の有効活用を推進

6 教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事務事業一覧

平成 30 年度の南富良野町教育行政執行方針で示された分野ごとの事業目標に基づき実施した次の事務・事業を点検・評価の対象としています。

番号	事業区分	事業名・事業目標
1	学校教育	確かな学力
1-1-①	学校教育	基礎学力の定着 <i>ICT 機器活用や土曜授業</i>
1-1-②	学校教育	<i>小中高連携</i>
1-1-③	学校教育	<i>英語・道徳教育</i>
1-2-①	学校教育	教師力向上 <i>授業力向上に向けた講習会</i>
1-2-②	学校教育	<i>校内研修・各種研修</i>
1-2-③	学校教育	<i>指導力と実践力向上</i>
1-3	学校教育	工夫された読書活動
2	学校教育	豊かな心と健やかな体
2-1	学校教育	特別な支援を要する児童生徒への支援の充実
2-2	学校教育	いじめ防止対策
2-3	学校教育	ネットモラルの指導徹底
2-4	学校教育	体力づくり充実・運動習慣
3	学校教育	信頼される学校
3-1	学校教育	コミュニティスクール導入
3-2	学校教育	安全安心な学校づくり
3-3	学校教育	安全で安心な給食
3-4	学校教育	給食費の助成
4	高等学校	高等教育
4-1	高等学校	各種補助や助成の継続
4-2	高等学校	学力向上・部活の中高連携
4-3	高等学校	進路に応じた多様な支援
4-4	高等学校	魅力づくり推進
5	生涯学習	少年教育
5-1	生涯学習	体験活動の場の提供
5-2	生涯学習	本部町親善交流事業

6 教育行政執行方針に基づく点検・評価対象事務事業一覧

番号	事業区分	事業名・事業目標
6	生涯学習	青年教育
6-1	生涯学習	青年同士のネットワーク
6-2	生涯学習	社会教育事業との連携
6-3	生涯学習	継続的な語学教室
6-4	生涯学習	千里大学
7	生涯学習	芸術文化
7-1	生涯学習	主体的な文化活動の支援
7-2	生涯学習	北海道舞台塾公演
7-3	生涯学習	山本二三展の開催
8	生涯学習	公民館活動
8-1	生涯学習	図書サービスの向上
8-2	生涯学習	活発な公民館活動
9	生涯学習	文化財
9-1	生涯学習	郷土資料
9-2	生涯学習	イトウ
10	生涯学習	家庭教育
10-1	生涯学習	子ども朝活事業
10-2	生涯学習	支援する取組
11	生涯学習	体育スポーツ振興
11-1	生涯学習	関係団体との協働
11-2	生涯学習	アスリート補助金
11-3	生涯学習	スポーツ少年団
11-4	生涯学習	体育施設

7 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価の方法

教育行政執行方針に位置付けられて実施した主な 38 の事務・事業等について、事務事業点検評価シートにより「事業名」、「事業目標」の「事務事業実施状況」、「事務事業評価」により課題等を明らかにし、「達成度・効果度・総合」の評価を行います。その後、評価委員の意見を聴取し、「今後の方向性及びその方策等」をまとめ、今後の方向性を見出します。

(1) 評価基準

①達成度評価基準

区 分	A	B	C	D
評価内容	実践が進み成果を上げている	実践が進んでいる	実践に努めている	努力を要する

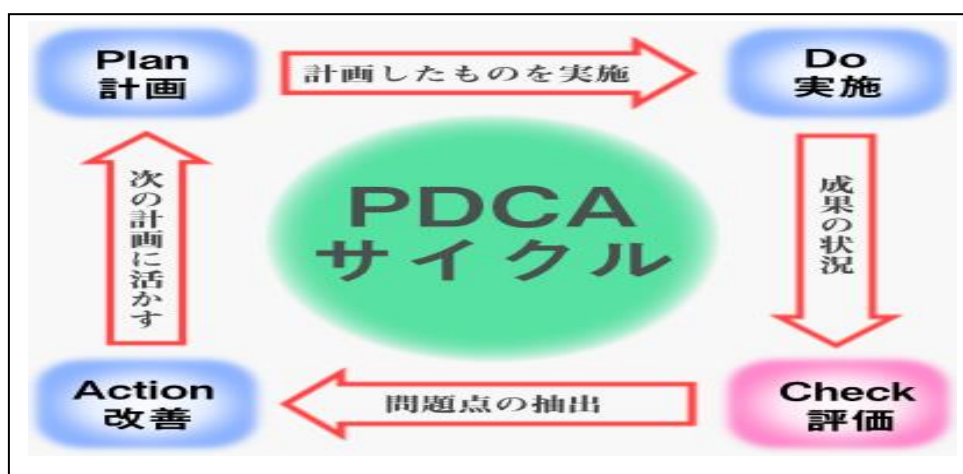
②効果度評価基準

区 分	A	B	C	D
評価内容	期待どおりの効果が得られた	効果度が比較的高い	効果度が比較的低い	ほとんど(全く)効果が得られない

③総合評価基準

区 分	A	B	C	D
評価内容	高い成果を上げている	成果を上げている	実践に努めている	努力を要する

④事業改善に向けた方法



事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-1-①	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
事業名（目標）	基礎学力の定着（ICT機器活用や土曜授業）				

2 事業実施状況

ICT機器については、平成28年度に各小学校へタブレット式パソコンに更新し、平成29年度に中学校でタブレット式パソコンに更新した。各学校には、授業で操作できない児童生徒がでないよう1クラス人数分の台数を配置した。

土曜授業は、平成30年度各小学校では10回実施し、中学校では2回実施した。各学校の内容として、行事や特別授業の実施のみならず、通常教科の授業も行うよう計画し実施した。

3 事務事業の評価

各小・中学校にタブレット式パソコンや書画カメラ等を導入し、校舎内どこでも使えるよう無線LANを整備した。児童生徒の理解が深まる効果的な授業の実施を可能とした。 土曜授業を実施することにより、授業時数を確保するほか、行事や特別授業も実施することができ、ゆとりある教育課程を編成、実施することができた。	評価委員の意見	ICT活用及び土曜授業は、是非継続して欲しい。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

今後は、導入したタブレット式パソコンを授業等で効果的に活用し、児童生徒の学習理解を深める。既に導入してるeライブラリーを活用し、放課後等に児童生徒が基礎・基本を繰り返し学べる環境整備を図る。 土曜授業の実施により、基礎・基本の確実な定着に努めている。また、新学習指導要領の実施を行うにあたり、土曜授業の実施は効果的であり、必要不可欠なものであるため継続して実施する。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	1-1-②	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
施策名（目標）	基礎学力の定着（小中高連携）				

2 事業実施状況

平成29年度に策定した南富良野町小中高連携教育推進基本計画により小中高連携教育の推進を図った。

具体的には町内小・中・高等学校が校種間の枠を超えて「南富良野町版学力向上モデル」を一丸となって推進したほか、中学校と高等学校が部活動を連携して実施した。

3 事務事業の評価

南富良野町小中高連携教育推進基本計画により、学校種間の枠を超えて、学力向上への取組み「町学力向上モデル」を推進するとともに、「町学習課程スタンダード」により統一した授業づくりを進めた。	評価委員の意見	「学力向上モデル」や「学習過程スタンダード」などは言葉では分かりづらい部分はあるが、継続した事業の推進を望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

子ども達に格差のない学力向上の取り組みを実践するためにも、学校種間の枠を超えて一丸となって「南富良野町版学力向上モデル」に基づいた取り組みを実施し、授業づくりを進め、今後も児童生徒の学力向上に努める。 また、各校交流し、児童生徒が身につけるべき知識や技能を指導の連続性・一貫性の視点を明らかにし、小中、中高教員が目標を共有することで教員の指導力の向上につなげる。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-1-③	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
施策名（目標）	基礎学力の定着(英語・道徳教育)				

2 事業実施状況

英語教育においては、ALTを活用した授業を実施するとともに、小学校ではコミュニケーション能力を育む外国語活動に取り組んでいる。中学校においては、英検に対する支援を行うことで、受験者数増加がみられ、外国語教育への学習意欲が向上している。

道徳教育においては、特別の教科道徳を要とし、各教科における横断的に取り組むことで、様々な事象を多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考える科目となっている。

3 事務事業の評価

各学校における取り組みにより、児童・生徒の学習意欲が向上している。	評価委員の意見	新しく教科となったので、今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

各教科における方針を確立するため、各学校の課題を検証し研修を重ねることで、児童・生徒の学習意欲の向上を高めることができるよう、研修等を継続して実施する。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	1-2-①	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
施策名（目標）	教師力向上(授業力向上に向けた講習会)				

2 事業実施状況

平成28年、29年の2年間、教員を教育視察へ派遣したため、次の段階として、全ての教員が直接、見聞することができるよう、学校に講師を招聘し研修会を実施した。

新学習指導要領の完全実施に向け、「南富良野町版学力向上モデル」に基づいた取り組みを推進し、子どもたちに格差のない学力向上の取り組みを実践できるよう努めた。

3 事務事業の評価

「南富良野町版学力向上モデル」の共通理解を図り、授業づくりが進んでいる。	評価委員の意見	教師力・授業力は重要であるので、今後も統一した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

新学習指導要領の完全実施に向け、「主体的・対話的で深い学び」を創り出す指導課程の在り方を探り、児童・生徒の抜本的な学力の向上を図るため、継続して研修会に取り組み、授業力の向上を図る。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-2-②	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
施策名（目標）	教師力向上（校内研修・各種研修）				

2 事業実施状況

各学校において、学習環境や学習状況を踏まえたうえで授業改善に取り組み、研究主題の具現化に向けて、授業公開を基本とした校内研修を行った。
 小中高連携教育推進にあたり、小中高教員合同の研修として、授業の相互参観、授業協議への相互参加等が行い、幼保・小、小・中、中・高のスムーズな接続を図り、12年間のスパンで指導し、見守っていく体制を構築している。

3 事務事業の評価

「南富良野町版学力向上モデル」の共通理解を図り、授業づくりが進んでいる。	評価委員の意見	教師力・授業力は重要であるので、今後も統一した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

研究授業、参観日、授業公開週間の日程を交流し、授業交流を通して、児童生徒理解と教師の指導力向上を継続していく。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	1-2-③	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
施策名（目標）	教師力向上（指導力と実践力向上）				

2 事業実施状況

新学習指導要領の完全実施に向け、「南富良野町版学力向上モデル」に基づいた取り組みを推進し、子どもたちに格差のない学力向上の取り組みを実践できるよう努めた。
 講師を招聘し、学力向上講習を実施し、南富良野町における学習指導の在り方について共通理解を図り、授業改善に努めた。

3 事務事業の評価

「南富良野町版学力向上モデル」の共通理解を図り、授業づくりが進んでいる。	評価委員の意見	児童生徒の学力のため、今後も継続して取り組んで欲しい。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

「南富良野町版学力向上モデル」の共通理解を図り、授業づくりを継続して進めることが必要。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	1-3	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	確かな学力				
施策名（目標）	工夫された読書活動				

2 事業実施状況

朝読書や長期休業中の貸出、校内読書月間を活用した取り組み、地域人材を活用した本の読み聞かせ会等を通して読書活動を推進した。
また、読書週間の効果を、学校だより・学級通信・授業等で児童生徒、家庭、地域へ啓蒙した。

3 事務事業の評価

各学校における読書推進活動により、読書習慣が定着してきている。	評価委員の意見	読書（本）を好きにさせることは難しいと思うが、継続した取組により習慣化することが大事だと思うので、継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

継続的な読書活動により、思考力・判断力・表現力等の学力向上、読書による語彙力の増加で、コミュニケーション力の向上を推進するため、継続して実施する。 読書活動をさらに推進するため、学校司書の配置を検討する。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	2-1	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	豊かな心と健やかな体				
施策名（目標）	特別な配慮を要する教育				

2 事業実施状況

支援の必要な子どもの教育を行うため、平成29年度から中学校に学習支援員を平成30年度より南富良野小学校に特別支援教育支援員を配置し、一人ひとりの教育的ニーズに応える指導を行ってきた。また、個別の支援計画の作成と活用を進め全校体制で支援に努めている。更に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにより児童生徒や保護者の困り感や不安に対する相談体制の充実を図り、子どもを取り巻く環境改善、心の成長を支援した。

3 事務事業の評価

学習支援員及び特別支援教育支援員の配置やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる相談体制を充実させたことにより、不登校傾向の生徒が減少し、不安を持つ生徒や保護者を支援することができた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

支援を要する児童生徒一人ひとりに対し、教育的ニーズに応える指導を今後も継続していくために、今後も学習支援員及び特別支援教育支援員の配置を継続する他、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した相談体制も継続させる。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	2-2	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係				
事業目標		豊かな心と健やかな体							
施策名（目標）		いじめ防止対策							
2 事業実施状況									
いじめ防止対策協議会を開催し、各学校で取り組んでいるいじめ実態把握調査の結果により町内各学校のいじめの状況等を把握、共有し、未然防止に向けての取り組みを協議した。									
3 事務事業の評価									
学校が各児童生徒に行ういじめ把握のための調査等により町内各学校のいじめの状況を把握し共有した。学校外で起きうるいじめについても情報を共有し、未然防止に向けた取組について協議できた。				評価委員の意見	今後も継続した取組みを望むが、目に見える取組みも必要ではないか。				
				達成度	A	効果度	A	総合	A
4 今後の方向性及びその方策等									
いじめ対策協議会を開催し町内各学校の状況を把握、共有するほか、いじめの未然防止に向けた取組みを継続して実施する。							方向性		
							継続		

1 事業計画概要

番号	2-3	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係					
事業目標		豊かな心と健やかな体								
施策名（目標）		ネットモラルの指導徹底								
2 事業実施状況										
メディア利用について、家庭・地域と連携しながら、メディアに触れる時間を1日2時間以内、ノーゲーム日の推奨、メディア利用に係る教室の実施等に取り組んだ。 また、本町の「スマホやゲームなどに負けない宣言」をもとに、望ましいメディアの利用に向け、各家庭や地域におけるルールづくり等が促進されるよう、家庭・地域への啓蒙活動を推進している。 生活リズムを整えるため、生活リズムチェックシートの活用、南富良野中学校における「放課後予定表・実績表」の実施等、各学校の課題に応じた取り組みを実施した。										
3 事務事業の評価										
南富良野中学校における「放課後予定表・実績表」の実施により、学習習慣形成及び生活リズムに大幅な改善が見られた。				評価委員の意見	達成度がBなのはメディアに触れる時間が2時間以内になっていないとのことなので、引き続き継続した取組みを望む。					
				達成度	B	効果度	A	総合	A	
4 今後の方向性及びその方策等										
本町の「スマホやゲームなどに負けない宣言」をもとに、望ましいメディアの利用に向け、各家庭や地域におけるルールづくり等が促進されるよう、家庭・地域への啓蒙活動を推進している。								方向性		
								継続		

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	2-4	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	豊かな心と健やかな体				
施策名（目標）	体力づくり充実・運動習慣				

2 事業実施状況

毎年、文部科学省が実施する全国体力・運動能力、運動習慣等調査により、各学校では状況を踏まえて、各小中学校では課題に合わせた体力を育むための取組をしている。具体的に、体力向上プランや運動記録カードの作成、カヌー、カーリング、スキーなど町の特色を生かし、楽しく運動できる授業の実施、タブレットの活用などによる体育の授業及び運動への意欲の向上、休み時間に気軽に体力・運動能力の種目を体験できる環境づくりを図ることなどに取り組んでいる。

3 事務事業の評価

小中学校ともに全国体力・運動能力の結果は全国平均を下回る結果が多いが、体力づくりや運動習慣づくりのため、各学校において休み時間や放課後等に体力づくりを行っている。	評価委員の意見	結果は平均を下回っているが、個々の内容は伸びがあるので、継続した取組みを望む。				
	達成度	B	効果度	B	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

南富良野小学校におけるめぐりマラソンやチャレンジタイム、各学校において体力向上、運動習慣づくりのため、授業や休み時間において様々な取組を行っているため、体力・運動能力の向上を図るためには、継続することが大切である。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	3-1	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
施策名（目標）	コミュニティスクール導入				

2 事業実施状況

平成28年度に南富良野西小学校、平成30年度に南富良野小学校と南富良野中学校に学校運営協議会が設置されコミュニティスクールが導入された。各学校においては、地域、保護者、学校が一体となった「地域とともにある学校」づくりをめざし、学校運営に参画し教育活動の充実を図ってきた。

3 事務事業の評価

地域、保護者、学校が一体となって学校運営に参加してきた。 学校運営協議会において出た意見を取り入れ新たな授業及び活動を実施することができた。	評価委員の意見	始まったばかりなので、継続し今後有意義なものとなるよう発展することを期待する。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

学校の経営方針に基づき、地域、保護者、学校が一体となった「地域とともにある学校」づくりを継続して行う。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要						
番号	3-2	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係	
事業目標		信頼される学校				
施策名（目標）		安全安心な学校づくり				
2 事業実施状況						
北海道実践的安全教育モデル構築事業の委託を受け、すべての学校において防災教育に取り組み、自然災害等の危険に際して、自らの命を守り抜くために行動するという「主体的に行動する態度」を育成し、自然災害等についての理解や、災害時に安全に行動できるようにするなど、危険予測・回避の能力を身につけさせるための「実践的安全教育モデル」の開発・普及を行った。						
3 事務事業の評価						
各学校において防災教育に取り組み、児童・生徒及び家庭、教職員の意識の向上がみられた。 南富良野町実践的安全教育モデルを構築し、防災教育の基盤を作るとともに道内へ発信することができた。			評価委員の意見	防災意識の高揚につながっているのが、良い取り組みだったと思う。		
			達成度			
4 今後の方向性及びその方策等						
防災教育は繰り返し行うことが重要なことから、南富良野町実践的安全教育モデルを中心に、継続した防災教育に取り組む。 必要に応じ各学校の安全計画及び危機管理マニュアルを改訂する。 家庭の防災意識の向上が必要なことから、児童・生徒とともに考え学ぶことのできる機会を検討する。						方向性
						継続

1 事業計画概要						
番号	3-3	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係	
事業目標		信頼される学校				
施策名（目標）		安全で安心な給食				
2 事業実施状況						
食中毒の防止、従事者の衛生管理、アレルギーの把握と対応に努め、安全で安心な給食を提供した。地場産品の食材を取り入れ栄養教諭による指導を充実させ、子どもたちが正しい知識や望ましい食習慣の形成と食べ物の大切さの理解を深めた。						
3 事務事業の評価						
食中毒の防止や従事者の衛生管理を徹底し、安全安心な給食を提供した。栄養教諭による栄養指導を町内全校で実施し子どもたちは食に対する理解を深めた。			評価委員の意見	継続した取組みを望む。		
			達成度			
4 今後の方向性及びその方策等						
安心安全な給食を提供するためには、食中毒の防止、従事者の衛生管理の徹底を図り、児童生徒のアレルギーの把握と対応が不可欠である。今後も衛生管理の徹底と児童生徒のアレルギー把握等に努めるとともに、栄養教諭による栄養指導を充実させる。						方向性
						継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	3-4	事業区分	学校教育	評価担当	教育委員会学校教育係
事業目標	信頼される学校				
施策名（目標）	給食費の助成				

2 事業実施状況

学校給食費については、引き続き助成を行い、子育て家庭への支援を図った。

3 事務事業の評価

学校給食費の助成を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図った。	評価委員の意見	継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

学校給食費については、引き続き助成を行い、子育て家庭への支援を図る。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	4-1	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
施策名（目標）	各種補助や助成の継続				

2 事業実施状況

生徒数の確保や保護者負担の軽減を図るため、町外から通学する生徒に対する通学費補助や在学中に使用する教科書購入費の全額補助、また、南富良野中学校から進学する生徒に対して制服購入費の補助を行ってきた。

3 事務事業の評価

継続して実施してきている中で、保護者からも好評価をいただいている。	評価委員の意見	保護者には助かる政策であるが、子どもたちがこの政策で学校を選んでいる。保護者の立場では、継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

今後、生徒数も減少する傾向にあるが、引き続き補助及び助成について継続し、保護者負担の軽減、生徒数確保を図っていく。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	4-2	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
施策名（目標）	学力向上・部活の中高連携				

2 事業実施状況

10分学習による基礎学力の向上、生徒の習熟度にあった指導などにより学力向上を図ってきた。また、部活動については、卓球部や吹奏楽部で中学校との合同練習を行い連携を図った。

3 事務事業の評価

10分学習、習熟度別指導については、継続して実施してきており効果もあるが、部活の中高連携については、吹奏楽部の幾寅神社祭での合同演奏等を実施するなど、ある程度の成果は上がったものと思われる。	評価委員の意見	学力向上・部活ともに意欲があるのに、そこまですべて対応してくれないという話を聞くことがあるので今後に生かしてもらいたい。				
	達成度	B	効果度	B	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

習熟度別の指導については継続して実施し、10分学習については学習効果を高めるため、朝の1校時前に時間を変更し実施する。部活の中高連携については、引き続き中学校と調整を図りながら更なる連携が図られるよう取り組む。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	4-3	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
施策名（目標）	進路に応じた多様な支援				

2 事業実施状況

生徒一人ひとりの進路に応じた教育活動を実施するため、介護職員初任者研修をはじめとした各種資格取得検定料や公務員模試受験料の助成、また、大学進学希望者に対しては大学模試受験料の助成を行った。

3 事務事業の評価

各種資格取得者も前年度より増えており、それぞれが希望する進路実現に向けて指導も行われている。	評価委員の意見	大学進学を希望している生徒が増えていると聞くので、南富良野高校でも希望の学校に行けるよう成果をあげることが、魅力にもつながるのではないかな。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

引き続き検定料助成等の支援を継続し、生徒が希望する進路に進めるよう取り組む。また、大学進学希望者向けには、新たにeラーニングによる授業外学習を導入し、更に進路実現に向けて取り組みを進める。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	4-4	事業区分	高等教育	評価担当	高等学校
事業目標	高等教育				
施策名（目標）	魅力づくり推進				

2 事業実施状況

町立の高校として、どのように魅力ある学校にしていけるか、プロジェクト検討会議で検討した。

3 事務事業の評価

カヌー・カーリング等に加えて、充実してきたICT機器を活用し、大学進学希望者に対する対応についても強化するものとした。	評価委員の意見	大学進学を希望している生徒が増えていると聞くので、南富良野高校でも希望の学校に行けるよう成果をあげることが、魅力にもつながるのではないかな。				
	達成度	B	効果度	B	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

圏域的にも中学校卒業者が減少していく中、今後も教育委員会と学校が一体となり、魅力ある高校づくりを推進していく。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	5-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	少年教育				
施策名（目標）	体験活動の場の提供				

2 事業実施状況

夏休み期間中において、参加希望者を募り自然体験活動（川遊び・釣り等）を実施しました。
また、発表機会の提供として、従来より取り組んでいる少年の主張上川地区大会の参加支援を行いました。

3 事務事業の評価

各家庭や地域において、体験活動等の機会が減少している子ども達に、本町の豊かな自然環境に触れながら様々な体験をする場の提供として成果を上げている。	評価委員の意見	学校での環境学習と重複する部分があり、自然体験活動の参加者が少ないのではないか、内容等について検討が必要だと思う。				
	達成度	B	効果度	A	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

子どもの頃の体験活動は、多くの人と関わりながら体験を積み重ねることにより、社会を生き抜く力として必要となる基礎的な能力を養う効果があり、特に自然体験や地域活動等の体験が豊富なほど、大人になってからの人間関係能力や意欲・関心といった資質・能力が高くなる傾向にありますので、子どもたちの未来を育むために継続して実施して行きます。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	5-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	少年教育				
施策名（目標）	本部町親善交流事業				

2 事業実施状況

6月25日から6月29日までの5日間、町内小学6年生全員と引率5名の計21名が友好の町である沖縄県本部町を訪問し、平成31年1月28日から2月1日までの5日間、本部町児童16名・引率5名の計21名の受入れを行い、交流を深めました。（※第28回目の交流事業）

3 事務事業の評価

北海道と沖縄の異なる自然や生活文化に触れ、様々な体験等を通して、見聞を広め豊かな心を育む事業として大きな成果を上げている。	評価委員の意見	有意義な事業であり、今後も継続を望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

風土・歴史・生活文化の違い等を自ら体験して学ぶことは、貴重な経験であるとともに、長期間親元を離れて生活することで自立心が養われることから、今後も両町の産業振興を含め交流を深めながら事業を継続して行きます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	6-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	青年教育				
施策名（目標）	青年同士のネットワーク				

2 事業実施状況

次代のまちづくりを担う世代が、自らの知識とスキルの向上を図り、職域を越えた青年同士のネットワーク形成のきっかけづくりの場として、スポーツ交流会等の3つのイベントを企画し、交流活動の提供に努めました。（1回目：ナイトカヌー、2回目：焼肉交流会、3回目：バドミントン大会）
※参加者：3回実施 延べ69名

3 事務事業の評価

普段、交流する機会の少ない「青年層」へ交流活動の場を提供する有効な事業ではあるが、参加者に偏りがあるため、職域を越えた交流促進の展開が課題である。	評価委員の意見	地道でも継続していくことで、広がりが出てくると思う。 色んな業種があるので、考慮しながらの実施を望む。				
	達成度	B	効果度	B	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

幅広い職域を越えた交流促進が図れるようなイベント等を検討しながら、引き続きネットワーク形成の場を提供するとともに、各地域団体と連携し、社会教育事業の推進と自主的な活動支援に努めながら事業を継続して行きます。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	6-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	成年教育				
施策名（目標）	社会教育事業との連携				

2 事業実施状況

町内で活動する団体へ財政的な支援を実施した他、文化・女性団体と連携した社会教育事業の取り組みを実施しました。
（町文化協会と連携した富良野地区文化団体発表会の実施）
（幾寅婦人会と連携した本部町親善交流事業の取り組み・郷土料理及びカレーライス提供協力）

3 事務事業の評価

町内で活動する団体に対すると連携した社会教育事業を取り組んだことで、団体活動の活性化が促進された。	評価委員の意見	今後も財政及び運営支援に継続した取り組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

今後も、団体活動の活性化を図るため財政的な支援を継続しながら、連携した社会教育事業の取り組みを進めて行きます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	6-3	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	成年教育				
施策名（目標）	継続的な語学教育				

2 事業実施状況

国際化社会に対応する語学力を身につけることを目的に、中学生以上の町民を対象に本町のALTを活用した英会話教室を実施しました。
（実施期間 後期：4月～6月 前期：10～3月 ※期間中週1回 月曜開催）

3 事務事業の評価

平成30年度の受講登録者は5名で、令和元年度の開催等について検討が必要である。	評価委員の意見	内容変更なのか実施しないのか併せて検討して欲しい。				
	達成度	C	効果度	C	総合	C

4 今後の方向性及びその方策等

英会話教室のニーズを踏まえ、事業内容の再検討が必要と思われる。 （令和元年度においては、4月～6月までの開催で終了）	方向性
	見直し

1 事業計画概要

番号	6-4	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	成年教育				
施策名（目標）	千里大学				

2 事業実施状況

高齢期における地域の仲間づくり、自己の特性・経験を活かし、生きがいや楽しさを求めて学習する場として、専任講師（生涯学習支援員）を配置し、学習内容の充実や自主活動の推進に努めながら、学習計画に基づき授業展開を実施しました。

3 事務事業の評価

自己の特性を活かした自主活動やクラブ活動の推進により、地域活動等（行事・慰問）へ参加する機会が増えたことは大きな成果であるが、継続した入学者の確保が今後の課題である。	評価委員の意見	継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

高齢者の持つ豊かな生活体験や経験を次世代に伝えていくことは、極めて重要であるため、発表機会の提供や授業内容の充実を図るとともに、新入学者の確保に努めながら、生きがいや楽しみを見出す場として事業を継続して行きます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	7-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	芸術文化				
施策名（目標）	主体的な文化活動の支援				

2 事業実施状況

普段の生活では、なかなか聴くことができないピアノ演奏に触れることで、音楽の素晴らしさを知る機会と、住民の芸術文化に対する興味・関心を高めることを目的として、幾寅婦人会が企画した復興支援「中村天平ピアノコンサート」の運営支援を行いました。（※来場者数205人）
また、住民の自主的活動に対する財政支援（住民自主企画活動支援事業）を行っています。
（※H30申請件数：6件）

3 事務事業の評価

活動の活性化と文化活動の促進が図られた。	評価委員の意見	継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

団体活動等の活性化と文化活動の促進を図るため、各関係機関と連携した取り組みを実施して行きます。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	7-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	芸術文化				
施策名（目標）	北海道舞台塾公演				

2 事業実施状況

住民の芸術・文化を身近に親しむ機会づくりの提供として、第15回目の北海道舞台塾（富良野塾OBユニット演劇公演）を実施しました。
（演目：みずのかげら 来場者：150名 町内96名・町外54名・託児利用3名）

3 事務事業の評価

文化活動の活性化と、住民の芸術文化を身近に親しむ機会づくりの推進が図られた。	評価委員の意見	芸術文化に触れる機会を他の方法でも持っていただきたい。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

平成31年度（令和元年度）から道補助金の見直しがされることと、富良野塾OBスタッフが高齢になってきており、各市町村での会場設営が肉体的にも非常に厳しい状況にあるとの理由により、巡回公演は平成30年度で終了することになりました。	方向性
	廃止

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	7-3	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	芸術文化				
施策名（目標）	山本二三展の開催				

2 事業実施状況

多彩な芸術文化に触れ町民の趣味や文化活動に対する関心を高めるとともに、豊かな感性と情操を養うことを目的として、山本二三展を開催しました。
内容としては、山本二三氏を招いての絵画解説等の特別イベントを実施した他、約1ヶ月間の作品展（原画・複製画の作品約30展）を実施した（※観覧者数 531名）

3 事務事業の評価

住民の芸術・文化を身近に親しむ機会づくりの推進が図られた。	評価委員の意見	芸術文化に触れる機会を他の方法でも持っていたきたい。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

住民の芸術・文化を身近に親しむ機会づくりの推進に向け、検討してまいります。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	8-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	公民館活動				
施策名（目標）	図書サービスの向上				

2 事業実施状況

全ての世代の町民が本を読む楽しさを共有できるよう、図書室利用者からのリクエストを中心とした図書の購入や、ホームページや町広報誌による新刊図書の情報提供を行いました。
また、各地域における読書機会を拡充するため巡回図書を実施しました。

3 事務事業の評価

図書の定期的な購入や新刊図書の情報提供はできたが、巡回図書については、定期的な実施ができなかった。 図書室の利用者増には、つながっていない。	評価委員の意見	利用拡大について、引き続き取り組みを望む。				
	達成度	B	効果度	B	総合	B

4 今後の方向性及びその方策等

リクエストを中心とした図書整備の充実に努めるとともに、定期的な巡回図書と情報提供しながら、図書サービスの向上と読書活動の推進を図ります。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	8-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	公民館活動				
施策名（目標）	活発な公民館活動				

2 事業実施状況

地域の特性等を活かした公民館活動の促進が図られるよう、財政的な支援を実施しました。

3 事務事業の評価

各地区において、地域の人材を活用しながら公民館分館事業が実施されている。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

地域コミュニティ機能の活性化と、活発な公民館活動が展開されるよう支援を継続して行きます。
また、町内会行事等と統合することで今後検討が必要と思われる。

方向性

継続

1 事業計画概要

番号	9-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	文化財				
施策名（目標）	郷土資料				

2 事業実施状況

町民体育館へ郷土資料室を移転し、誰でも気軽に観覧できるよう環境整備を行いました。
H30利用実績 40人（一般利用21人・小学3年生の郷土学習利用19人）
H29利用実績 13人（小学3年生の郷土学習利用のみ）

3 事務事業の評価

郷土資料室の移転により、誰でも気軽に観覧できるようになり、利用者が増えた。	評価委員の意見	見学しやすい場所になったので、有効活用について継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

より多くの方に利用していただけるよう、町のホームページで情報提供して行きます。

方向性

継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	9-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	文化財				
施策名（目標）	イトウ				

2 事業実施状況

平成21年に制定したイトウ保護管理条例に基づき、イトウの分布及び生息状況の把握・環境保護等の他、小・中・高校生にイトウ及び本町の豊かな自然環境を知ってもらう取り組みとして、イトウの生態やその生息環境、そこに生息する他の生物について観察などを実施しました。また、11月には、北海道イトウ保護フォーラムが本町で開催され、小学生による環境学習の成果発表や、イトウの調査結果及び今後の保全策等についての報告を行っています。

3 事務事業の評価

イトウの適正な保護管理が実施された他、町民共有の財産として次代に継承する取り組みの推進が図られた。	評価委員の意見	環境学習等に今後も継続した取り組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

イトウの適正な保護管理に努めながら、環境学習を通して児童等への生物や自然環境への興味・関心の向上を図るとともに、自然体験を通じて町民の自然災害に対する知識・適応力向上に繋がるよう事業展開します。 また、イトウの生息に象徴される本町の豊かな自然環境を保全し、かつ資源として活用することとの両立が成されるよう努めて行きます。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	10-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	家庭教育				
施策名（目標）	子ども朝活事業				

2 事業実施状況

生活習慣が乱れやすい長期休業中（夏休み・冬休み）の、規則正しい生活習慣のきっかけづくりとして、高校生や地域ボランティアの協力を得て、子ども朝活事業「南ブ塾」を開催し、学習・運動・体験活動を実施しました。
（夏休み3日間 延参加人数148人・冬休み3日間 延参加人数194人）

3 事務事業の評価

規則正しい生活習慣及び体験活動機会の提供推進が図られた。	評価委員の意見	良い取り組みと思う。今後も継続した取り組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

各関係協力機関や学校と連携し、実施内容等の充実に努めながら事業を継続して行きます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	10-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	家庭教育				
施策名（目標）	支援する取組				

2 事業実施状況

同じ世代の子を持つ親同士が集う就学児健診の空き時間を活用し、「ちょっと一息！雑談タイム」と題して、子育てに関する意見交換や新たな就学児童をもつ親としての心がけ等について、情報提供を行いました。

3 事務事業の評価

親同士の交流の場として有効であり、各家庭における子育てや教育に対する取り組みの推進が図られた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	B	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

学校等と連携し、実施内容の充実に努めながら事業を継続して行きます。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	11-1	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	体育スポーツ振興				
施策名（目標）	関係団体との協働				

2 事業実施状況

体育スポーツの振興及びスポーツ関係団体の活動促進を図るため、社会体育事業の実施・運営について、町体育協会加盟組織及び総合型地域スポーツクラブ「ゆっく」へ移管しました。
移管内容：町民カヌー教室・町民登山・町民フロアカーリング（ゆっく）
町民ソフトボール大会（軟式野球連盟）、町民ミニバレーボール大会（排球連盟）
町民スキー・スノーボード教室（スキー連盟）

3 事務事業の評価

各団体へ社会体育事業を移管したことにより、団体活動の活性化が図られた他、参加者も増えるなどの成果をあげている。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

今後も町内スポーツ関係団体と連携しながらスポーツ活動の振興に努めるとともに、ニュースポーツの取り組みについて検討して行きます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	11-2	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	体育スポーツ振興				
施策名（目標）	アスリート補助金				

2 事業実施状況

子育て家庭世帯への経済的な支援と町民のスポーツ活動の振興を図るため、各種スポーツの全道・全国・国際大会等への出場に要する経費への財政的な支援を行いました。
(H30実績 12件・交付対象経費の80%を補助)

3 事務事業の評価

スポーツ活動の振興と、子育て家庭世帯の経済的な負担軽減が図られた。	評価委員の意見	今後も継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

制度周知を行いながら、今後もスポーツ活動の振興と経済的な負担軽減を図るための取組みとして、事業を継続して行きます。	方向性
	継続

1 事業計画概要

番号	11-3	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	体育スポーツ振興				
施策名（目標）	スポーツ少年団				

2 事業実施状況

地域スポーツの振興と子どもたちの健全な育成の推進を図るため、スポーツ少年団本部に対して財政的な支援を行いました。

3 事務事業の評価

各団体において、活発な少年団活動が展開されているが、少子化等の影響により加入児童数が減少傾向にあるとともに、専門的な指導者の確保が今後の課題である。	評価委員の意見	今後も財政及び運営支援に継続した取組みを望む。				
	達成度	A	効果度	A	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

少年団活動の推進を図るため財政的な支援の継続と、指導者の育成・確保を図るための施策等についての検討に努めて行きます。	方向性
	継続

事務事業点検評価シート

1 事業計画概要

番号	11-4	事業区分	生涯学習	評価担当	教育委員会生涯学習係
事業目標	体育スポーツ振興				
施策名（目標）	体育施設				

2 事業実施状況

各地区の体育施設については、指定管理（どんころ野外学校）により適正な施設管理に努めています。
 （※3施設 町民体育館・空知川スポーツリンクス・かなやま湖スポーツ研修センター）

3 事務事業の評価

指定管理により適正な施設管理及び利用しやすい環境整備が図られている。	評価委員の意見	新しい施設建設は難しいと思うので、現施設を適正に管理願います。				
	達成度	A	効果度	B	総合	A

4 今後の方向性及びその方策等

年次計画による施設の維持補修に努めるとともに、施設老朽化に伴う改修や施設の在り方等についての検討に努めて行きます。	方向性
	継続

9 前年度点検・評価対象事務・事業の状況

前年度の点検・評価対象事務・事業のうち、今後の方向性で廃止、休止、完了とした事務・事業以外の当該年度における点検・評価の結果は次のとおりです。

(1) 当該年度点検・評価対象事務・事業

前年度点検・評価対象事務・事業名 (廃止、休止、完了事務・事業を除く)		前年度	当該年度	備 考
		総合 評価	総合 評価	
学 校 教 育				
1	確かな学力			
1 基礎学力の定着				
① ICT 機器活用や土曜授業		A	A	
② 小中高連携		A	A	
③ 英語・道徳教育		－	A	新規
2 教師力向上				
① 授業力向上に向けた講習会		A	A	
② 校内研修・各種研修		A	A	
③ 指導力と実践力向上		A	A	
3 工夫された読書活動		－	A	新規
2	豊かな心と健やかな体			
1 特別な配慮を要する教育		A	A	
2 いじめ防止対策		A	A	
3 ネットモラルの指導徹底		－	A	新規
4 体力づくり充実・運動習慣		A	B	
3	信頼される学校			
1 コミュニティスクール導入		A	A	
2 安全安心な学校づくり		A	A	
3 安全で安心な給食		A	A	
4 給食費の助成		A	A	
高 等 学 校 教 育				
4	高等教育			
1 各種補助や助成の継続		A	A	
2 学力向上・部活の中高連携		A	A	

9 前年度点検・評価対象事務・事業の状況

	3 進路に応じた多様な支援	A	A	
	4 魅力づくり推進	B	B	
生涯学習				
5	少年教育			
	1 体験活動の場の提供	—	B	新規
	2 本部町親善交流事業	A	A	
6	青年・成年教育			
	1 青年同士のネットワーク	A	B	
	2 社会教育事業との連携	A	A	
	3 継続的な語学教育	A	C	
	4 千里大学	A	A	
7	芸術文化			
	1 主体的な文化活動の支援	A	A	
	2 北海道舞台塾公演	A	A	
	3 山本二三展の開催	—	A	新規
8	公民館活動			
	1 図書サービスの向上	A	A	
	2 活発な公民館活動	A	A	
9	文化財			
	1 郷土資料	B	A	
	2 イトウ	—	A	新規
10	家庭教育			
	1 子ども朝活事業	A	A	
	2 支援する取組	A	A	
11	体育スポーツの振興			
	1 関係団体との協働	—	A	新規
	2 アスリート補助金	A	A	
	3 スポーツ少年団	A	A	
	4 体育施設	A	A	

9 前年度点検・評価対象事務・事業の状況

(2) 当該年度点検・評価対象事務・事業について

平成 30 年度における事務・事業点検評価項目は 38 事務・事業で、前年度においても点検・評価対象とした事務・事業は 31 事務・事業、新規項目は 7 事務・事業でありました。

前年度総合評価で「A」と評価した 29 事務・事業のうち、当該年度においても「A」評価とした項目は 26 事務・事業、「B」評価としたものは 2 事務・事業、「C」評価としたものが 1 事務・事業となっています。

又、前年度「B」と評価した 2 事務・事業のうち、当該年度「A」評価が 1 事務・事業、「B」評価が 1 事務・事業という結果でありました。

今年度新たに評価対象とした 7 事務・事業については、「A」評価が 6 事務事業、「B」評価が 1 事務事業となっています。

10 学識経験者

平成 30 年度教育委員会事務の管理及び執行の状況における点検・評価の方法や結果等について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項の規定に基づき、教育に関し学識経験を有する者として南富良野町教育委員会教育行政評価委員から意見等を聴取し、知見の活用を図っています。

1. 南富良野町教育委員会教育行政評価委員

氏 名	職 業 等
上 坂 利 江	団体臨時職員(保育士資格保有)
小 林 弘 幸	農業(社会教育主事資格保有)

2. 意見聴取日等

日 時	場 所
令和元年 8 月 6 日	南富良野町役場 小会議室
令和元年 8 月 20 日	南富良野町役場 小会議室
令和元年 8 月 27 日	南富良野町役場 小会議室

3. 意見の内容

(1) 各事務・事業ごとの点検・評価に関することについて

各評価委員から点検・評価に対し出された意見の内容については、「9 教育行政執行方針に基づく事務・事業等の点検・評価結果(評価シート)」に記載しています。

11 教育委員会の組織

1 教育委員会委員（平成30年度在籍者）

職 名	氏 名	任 期	保護者	備 考
教育長	岩渕 秀一	平成28年11月16日～ 令和元年11月15日		第1期目
教育長 代 理	河野 高好	平成30年10月1日～ 令和4年9月30日		第4期目
委 員	大神 裕全	平成27年10月1日～ 令和元年9月30日	○	第1期目
委 員	柴田 昭江	平成28年11月16日～ 令和2年11月15日		第1期目
委 員	金村 萌絵	平成29年10月1日～ 令和3年9月30日	○	第1期目

2 事務局組織（平成30年度現在）

